

新種のノリを発見、センジュアマノリと命名

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2023-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 阿部, 真比古 メールアドレス: 所属: 水産研究・教育機構
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/266

新種のノリを発見

センジュアマノリと命名

下関と千葉を結ぶ新種のノリ

令和元年で日本の海面養殖業生産量の第二位はのり類の251千トン、板のりの主な原料は紅藻のスサビノリ[※]で、岩のりにはウップルイノリなど多くの種類が産業利用されています。

近年の気候変動は海藻類の生育にも影響を与えると考えられる中、水産研究・教育機構水産大学校では地域で活用できるノリ資源の探索・調査を行ってきました。

山口県下関市で採集したノリを培養して、独特の成長過程を持つ種類を発見しました。千葉県立中央博物館分館 海の博物館と共同研究

を進め、下関市で採取したノリと海の博物館が千葉県いすみ市及び銚子市で採集、保存培養していたノリは、同じ種の新種であることを明らかにしました。

この新種は、その成長過程で葉状体基部から新たな葉状部が発出するというほかのノリにない特徴があります。成長すると四方に手を広げているように見えることからセンジュアマノリと命名しました。学名は、本種の最初の発見者であり、ノリ研究の第一人者の鬼頭鈞水産大学校名誉教授に献じて *Neoporphyra*

kitoi (ネオポルフィラ・キトイ)としました。



室内培養したセンジュアマノリ

FRAnews53号の「ノリの研究」の特集は、下記からお読みいただけます。
<http://www.fra.affrc.go.jp/bulletin/news/fnews53.pdf>

※ この内容は、2021年7月15日に日本藻類学会の英文誌Phycological Researchにオンライン掲載されました。
 次のURLから論文情報と要旨がご覧になれます(英文)。⇒ <https://doi.org/10.1111/pre.12464>

※ 紅藻のスサビノリ：ノリ(アマノリ類)は、紅藻の仲間である植物の一種。日本のアマノリ類は約30種類、そのうち食用となるのは、スサビノリ、アサクサノリ、ウップルイノリ、カイガラアマノリなど。